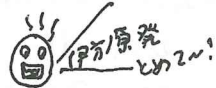


# 原発いらん! 山口ネットワーク

2022年11月14日の報告



403号

## 次の集り

2022年12月12日(日)13時30分

場所 周南市徳山保健センター  
健康増進室3

お日程がごみ合いでするので、12月の通信は  
お休みにします。

## 1月の例会

2022年1月9日(日)13時30分  
場所 周南市徳山保健センター  
健康増進室3

12月2日、伊方原発再稼働。怖いのはオミクロンだけじゃない。  
11月4日、また中電から祝島に文書が来た。  
その内容は、要約すると...

- ① 和解条項は裁判の確定判決と同じ重さを持つものであるから遵守するべきものがある。
- ② 和解条項2、3に分けてあるのは、2は埋立工事を始めた時、3はそれを始める前の調査のことを言っているのが不合理ではない。
- ③ 損失補償がされない違法な調査と言いつつ、当社は200年に地質、水質などの調査を含めて漁業権者(現在の山口県漁協)に補償金を支払っている。
- ④ この一般海域専用許可については、山口県が、県漁協の同意のみを求めているので、当社はそれに従うだけ。
- ⑤ 調査はすべて予告してやっており祝島の漁業の妨害はしていないので、調査をさせろはい。

○ 祝島の島民の会とは反論文を検討中。

ただ、補償金を受取っていない祝島の漁民とは何ら動じるものではないということだ。

## 12.5(日) 老朽原発このままだら火の

大集会におあすか、つつば公園で。  
南会午後一時デモ午後2時半

代表者 小中 進

F742-1513 山口県熊毛郡  
田布施町麻郷P2208  
TEL, FAX 0820-55-6291

振込口座(年会費 2000円)  
(郵)01590-5-27469

口座名「原発いらん、山口ネットワーク」

作製・印刷・発送  
国防護の自然を守る会  
三浦 肇 外

沖縄県知事は辺野古埋立  
の設計変更を不承認とした。

ために防衛局は工事を続  
行している。

「自由と民主主義の国」という  
なり、また行政は法律を守る  
べき。

先口(21年10月10日)報告に5点の誤りがありました。  
筆者・三浦肇の目にはかいてあるもので深くおわびし  
ます。

- ① P2 上段右から6577行の「あり犯罪的な4800万円  
払え」のスラップ訴訟の和解条項」は誤りで、  
正しくは「2014年山口地裁で祝島島民の会  
と祝島漁民30人との間で結んだ和解条項」です。
- ② P2 上段左から6行目の「2014年スラップ訴訟」を前  
除する。
- ③ P2 上段左から2行目「2014年以後」を削除する。  
「2009年田名島下頭からツイを運び出す際  
に祝島のくたらが阻止行動を行ったことを中電が訴  
え、その裁判による和解条項だったのです。」(M)
- ④ P3 下段左から11行目「2022年3月10日(木)14時は誤  
り」で、正しくは「2021年12月9日(木)14時」です。
- ⑤ P3 下段左から1行目「10月10日」は誤りで、「11月  
4日」が正しい。

柳井市議選がありま。

11月28日告示12月5日投票日です。

「上関原発のない未来を、柳井地域の会」代表の  
中川たかしにがんばってもらいたいです。

「長友みつこさんも上関原発反対です。」

小出裕章さんの講演会があります。

2022年

4月16日(土) タカ 字部

4月17日(日) 午前 柳井

まだ場所も決まいませんが決まらないうちに知らせ  
ます。日時はまだ動きませんが決まらないうちに  
知らせます。

沖縄戦とのかわり(アンケート)を同封していま  
す。お心あたりのある方はよろしくお願いたします。

行事	日時	場所	連絡先
「日本に風力発電はいらない」 - 石狩湾岸2号地をめぐっての 懸念 - 安田秀子さん(石狩 湾岸の風力発電を考える 石狩市民の会代表)のお話	12月5日(日) 14時~16時	阿武町宇田郷 ふれあいセンター 多目的ホール	0838-84 -6341
オンライン・12月5日脱原発をめざす 私たちの会結成10周年集会 今こそ脱原発! 報告1. 大田かひの現場から 中 汚染水「海洋放出」か 「はいはろい」おしひつこ 中 北海道春都PTから「NO」 核のゴミ処分場「野村保子 さん」 中 福島からの報告 武藤類子さん etc, etc 報告2. 国政の現場から - 泉 参 議 員	12月5日(日) 14:00~16:00	主催 岩 野 川 光	脱原発をめざす 私たちの会 080-3174-3584 info@nnpfem.com
朝鮮学校への補助金 復活を! 座、込み	12月8日 11:45~ (水)	県庁前広場	
オンライン・よみがえる戦前 へ治安維持法から見る土地 規制法 対談: 萩野富士夫さん(小樽 商科大学名誉教授) x 海渡雄 さん(弁護士)	12月9日(木) 19:00~20:30	<a href="http://ptix.at/mJnVep">http://ptix.at/mJnVep</a> 広報チラシ <a href="http://juvotochi-haian.org/wp-content/uploads/2021/11/online_taidan_20211208b.pdf">http://juvotochi-haian.org/wp-content/uploads/2021/11/online_taidan_20211208b.pdf</a>	土地規制 法廃止 アクション 事務所
伊方原発再稼働差止め裁判	12月9日(木) 14:00~	岩国支部	
原発いらん! 山口ネットワーク例会	12月12日(日) 13:30~	周南市保山保健センター 3F	小中 0820-55-6291
石牟礼道子・多田富雄 深き 魂の交歓「言葉-詩-歌-舞	12月19日(日) 14:30~	森本能舞台 (福岡市中央区警固)	全自由席 3000円 前売 2500円 林之田い記念 1万円 文庫資料室 092-406-8609
映画「アソビの何処へ?」 ファミリー賞レース	12月26日(日) ① 13:30 ② 18:30	山口県教育会館	西条駅前 1800円, 1500円 25円以下 1000円 18 - 800円

イベント情報

2022年の県知事選(1月20日告示、2月6日投開票)と同時に終わる光市の県会議員補選選挙の候補者3人が全員上関原発計画に反対を表明。くわしくは「例会の報告」を見てください。新聞記事です。↓⑧

誰が当選されても、つらくと上関原発反対で「反原発議連」というよにがんばって下さいます。公約違反は先市民が許しません。

11月4日、広島地裁、伊方原発差止め仮処分を却下。新聞記事です。↓②

樋口英明さんが指摘されている、現存する原発の耐震性の低さがいかに常識はずれのものか、ということは、私たち素人にもよくわかることなので、勝訴が当然と思っていました。

予想外の「却下」の決定について、樋口さんから「一部の安藤さんにメールがありました。」「松政歓迎ということなので載せました。」「安藤さんは昨年片平部と周南で樋口さんの講演会の立会者です。」

広島高裁に抗告。

差し止め却下で  
住民即時抗告へ  
伊方3号機巡回  
四国電力伊方原発3号機(愛媛県伊方町)の運転差し止めを求めて広島、愛媛両県の7人が申し立てた仮処分で、住民側は16日、申し立てを却下した広島地裁の決定を不服として広島高裁に即時抗告すると明らかにした。即時抗告申立書は18日付。

住民側は耐震設計の目安となる揺れ(基準地震動)について、四国電が定める650ガ(震度6弱相当)は過小評価だとし「巨大地震で重大事故を起す可能性が高い」と主張。4日の地裁決定は「伊方原発の地盤に合わせて数値を補正せず、比較するだけでは具体的な危険性があるとはいえない」などと判断した。

3号機は定期検査入りした2019年12月に運転を停止。これまでの運転を認めない司法判断やトラブルを受け、停止期間は長期化している。今年10月に再稼働を予定していたが、宿直中の社員が無断外出する保安規定違反が発覚。四国電は県や町から再発防止策への理解を得た上で再稼働を目指す方針としている。

裁判のこと

伊方原発再稼働差止めの裁判(再訴)  
才12回、岩国支部  
2021年12月19日(木)14時

先号ご周知をお知らせし、すみませんでした。  
伊方原発は12月2日(木)稼働を開始。

● 例会の報告

- 参加地域 田布施、光、下松、周南、宇部
- 小中代表より。

コロナは山口県でも、一段落してはいますが、世界的に見るとまだ増えているところもあるのが、気を付けていきましょーう。

● 中電は、今回の田の浦でのボーリング調査は中止と発表しました。

熊本一規さんの祝島の漁業者の同意と、これに対する補償がなされないかぎり、調査はできないというあたり前の理屈で中電は中断に追い込まれました。

● 10月31日の衆議院選挙は残念な結果に終わりました。山口県では、立憲民主と共産とれいわが市民連合として共闘し、原発ゼロを掲げて闘いました。

私も山口県2区と、比例区で街頭を手伝いました。参議院補欠選挙(10/23投票)までは反志がともよく、20代前半の人が外宣車に乗ってがんばって下さると言ってくれたり、年輩の人が「今の自民党は腐り切っちゃる、やめさせにやーいけん」と言ってきたり。

後半になぜ流れが変わった気がする。立憲が情を減らして、野党の敗北感が強い。

山口県が現在の政治不信の根幹を作ったような気がする。

私は政治の町と言われた田布施町で生まれ育ちました。現在でも、林芳正氏の鞍替えによる参院選の補選で当選した北村氏は田布施町出身。

防衛大臣の山本信次氏も佐民市は田布施町にありませう。

その田布施町で投票率は50%を切っている。情ない感じがします。

下関市では女倍が2万4千票減らした。

野党の取組みが弱い。野党連合と言っても動くのは私と共産党くらいで、他の党は余力やらない。

来年2月に行われる光市の県議補欠選挙で現任者が、立候補を表明しているが、なんと3人共

上関原発には反対と言っている。

上関原発に賛成と言えれば落選することがわかっているから。それと、光市長がぼろぼろと上関原発に反対しているから。

光市の市議会も上関原発討論凍結と言っている。連合の山近和浩氏も県議の補選に立候補して、「上関原発反対」と言っている。

磯部登志恵氏<sup>は</sup>昨年の市長選に立候補した時は原発は推進と言っていたのに今回は反対と。

自民党公認で元市議の清水祐幸氏も「上関原発反対」と言っている。新聞記事です。↓↓P⑧

これは光市長と市民がえらいと思おう。

原発推進では選挙に勝たないとわからせているのだから。

市民の力の一つである。私たちもがんばりましょーう。

● 前号の通信に誤りがありました。 ↓P①



● 上関町では上関町民の会、P和ネーム、上関の自然を守る会と私たちネットワークも加えて、2ヶ月に一度上関町全戸へポラ配りをしていきます。

が、私たちネットワフは体力的にどこまで手がまわらないというところ、はじめてもらうことにしました。

自治労の若い人たちが全県から順番に乗って下さるので、そちらにおまかせしようというつもりです。

私たちは県内の市民グループの結びつきを強めたり、世論を高めたりすることの努力をそいだ方がよいだろうという判断です。

● 宇部の今回の衆議院選挙では坂本史子氏が立憲から立候補したが、連合が押しているのど、原発反対というところは一言も言わない。(浜野さん)

県内で上関原発反対は大きな世論なのに、これと言わない野党は勝たないと思った。

● 柳井市議選 があります。

11月28日公示、12月5日投票予定です。

「上関原発のない未来を、柳井地域の会の代表の

中川隆さんには是非当選してもらいたいのぞご協力を  
よろしくお願いいいたします。

共産党からは「長友みつこし」さんが出ておられる。こ  
方も上層原発反対です。

先号に同封したトリチウム汚染水についでこのビラ  
を配りましょう。

「トリチウムは無害」とか「海洋放出の方法が  
ない」という嘘が許せない。

各地から送っていただいた「トリチウム汚染水を含むALPS  
処理水の海洋放出方針の再検討を求め署名」は、  
4月についで、今回は60名、25名と二度福島に送ら  
れました。

先日ズームで見ましたが大井連も専門家を招いて  
シンポジウムを行っています。

地元の漁協も、全漁連も強く放出に反対している。  
し、東電は地元の同意なしには決して放出しないと約  
束しているのになぜ約束を守らないのか。

11月21日。

「岩国基地撤去」のための集會に、小中さん外2名が参  
加しました。

各地でさまざまな団体をしている人たちの集り、への  
ニブルーのカヌー隊の人、周知からは、老朽原発動機  
可能な人達が大きな旗を高く掲げ、生コン組合  
の組合弾圧と闘っている人、九州の筑紫城基地立脚  
で毎月2日に基地反対の座り込みをしている人達な  
どなど。私たちは上層の現状を話しました。

愛宕山に座り込んでいる間にも爆音はとどろき、  
それは上からではなく、下から湧き起る、まわりの空  
気全体が震動するようでした。

岩国基地には9月30日には海上自衛隊護衛艦「いずも」  
(全長248m、排水量1万9500トン)が入港、10月3日に  
は四国沖で、「いずも」艦上で、赤軍海兵隊ステルス  
戦闘機F35Bが発着艦の試験を行ったという。  
日、赤軍の合隊がくはすさまじい。

10月14日には、赤軍の巨大軍艦ミゲルクラス



(8万1千トン、全長240メートル)が入港。  
沖合移設後の岩国基地の赤軍専用岸壁は水深13m。  
長さ360mと大型で、今回のミゲルクラスはこれまでに入港  
した船舶で最大。

国は、岩国基地沖合移設を決めた際は大型軍艦の  
入港はあり得ないと口をいいたが、今や沖繩に運ぶオスロ  
レイも、岩国に陸揚げされてから沖繩に船積みという状態  
になっている。

世界中がCO2削減に身を削る努力をせざるを得  
ない今、軍だけが訓練だなんだとCO2をまきちらし  
ていくわけはない。

日本の有方の中でも、ネット上でCO2を出しまくそ  
いるのが防衛省だという。(福島みずほ氏)

この通信を手にとりれた皆様、  
可能なうちは、時々例会に顔を出し  
下さるとうれしです。  
お待ちしております。

会計報告

2021年11月の会計報告 — 原発いらい/山口ネットワーク

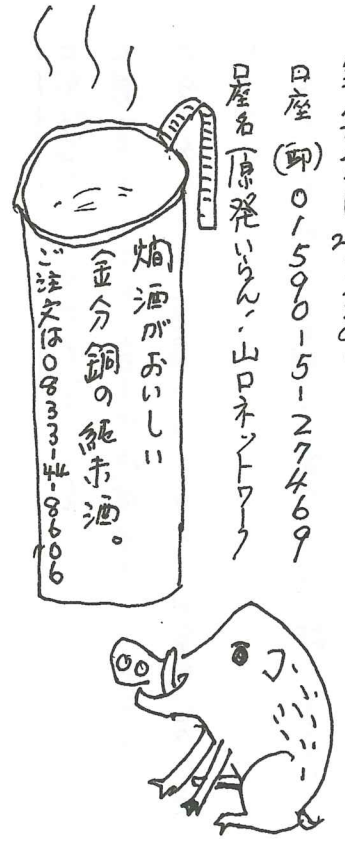
7月の報告の残高	361,365
収入 会費とカンパ	27000
支出	
7月の報告 作製・送料	30485
8月の " " " "	28,054
10月の " " " "	28134
8月例会会場費	2541
10月例会 " "	1400
11月例会 " "	1140
12月、1月(2022年)例会会場費	3660
トリチウム汚染水チラシ1000枚	2980
赤子市の住民投票にカンパ	3000
境港市の " "	3000
老朽原発このまゝ廃炉集会カンパ	3000
おの通知手数料	550
印字代振込料	1076
200-代	1100
	110,120
差引残高	278,245

お会費とカンパのお振込みをありがとうございます。

年会費は2000円です。

日座 (印) 0159015127469

口座名(原発いらい/山口ネットワーク)



中国地方、山口県、中国電力関連のニュース

- (10/21)日刊新周南(周南市)が不慮バイオマス推進協、市有林の緑山270ヘクタールで早生樹を活用し15年サイクルで伐採・再造林を年18ヘクタールとする。
- (10/30)中口(日経)中電、140億円赤字。
- (11/5)中口(上岡)入橋(修理の)不格工事始まる。
- (11/5)中口(鳥根)原発安全協定、中電「立ち入り調査認めると鳥取県に回答。再稼働の事前了解にはふれず」。
- (11/10)中口(山口)村岡知事3選立候補へ。自民党県連幹部に伝達。22年1月20日告示、2月6日開票。
- (11/13)新婦人(鳥取)鳥取県赤子市で地域新電力。
- (11/10)中口(鳥根)県と出雲、安来、雲南の3市が、国内原発の安全策、国に確認へ。地震やテロ、避難が長期化した場合の支援など。

●風力発電所出力最大14万キロワット。電源開発が西中国山地で計画。国内最大級に迫る規模。(11/1)中国日経、日刊新周南)

新聞記事 ↓ P7  
↓ P7  
了。パワーの資料



(11/1)中口

- (11/16)中口(鳥取)県赤子。境港市で、鳥根原発の再稼働向け住民投票署名19日開始。
- (11/18)中口(周南)市、下水処理で発生したガスを発電燃料に。年間100万kw、400万円を見込む。来年4月開工。
- (11/18)中口(海藻)吸収CO<sub>2</sub>排出権取引提案。中電技術コンカール

●(11/20)中口(鳥根)原発2号機再稼働松江ご問う住民投票署名26日開始。

- 伊方3号機巡り、広島地域裁の差し止め却下。住民即断拒否へ。(11/17)中口
- (11/18)中口(鳥根)原発安全顧問会議、2号機の再稼働に同意なしと結論。

●(11/19)中口(山口)県、温暖化対策見直しへ。

- (11/20)中口(鳥取)県、鳥根原発巡り、避難計画説明会。参加者27人。
- (11/20)日経(伊方)3号機再稼働に中村知事が同意。
- (11/21)中口(上岡)のクルマエビ、学校給食で堪能。

- (11/23)中口(山口)ウィンドファームに、山口県環境影響評価技術審査会は場所を選んだ理由など事業者に質問。来年1月に知事立見るとして、事業者に提出する。
- (11/25)中口(鳥根)原発2号機再稼働めぐり、国の審査や説明が、「早急」理解できると、鳥根県。

●(11/27)中口(鳥根)県知事、中電への対応を規制庁に確認。再稼働の事前了解を求めると、鳥根県。

●(11/29)中口(鳥根)県知事、中電への対応を規制庁に確認。再稼働の事前了解を求めると、鳥根県。

- (11/30)中口(山口)県知事、千葉まより氏立候補。
- (12/1)中口(鳥根)原発、鳥取県知事、安全協定見直しを県議会に報告。再稼働の事前了解を求めると、鳥根県。
- (12/1)中口(石炭)火力停止計画。中口地方28基で。

その他の関連ニュース

- (11/1)日経(再生)エネ「地産地消」広がる。中電など、域内配電網。災害に備え、導入促す効果も。
- (11/2)日経(気象)テラが再エネ促進。空ワーミース。
- (11/3)中口(反骨)報道子真夏の記録。樋口健ニヤン(原発ライフワーク)働きの日本戦後史への報道写真真夏の60年と(ニヤン)書店「フクシマ原発棄民」史の証人(八月書店)相つて刊行。
- (11/3)中口(東)電福島原発事故の控訴審初公判、旧経営陣、改め無罪主張。
- (11/4)日経(菅)原発電で農業、再エネ両立を。
- (11/5)中口(伊方)3号機差し止め却下。広島地域裁、危険性認めず。
- (11/6)中口(脱)炭石炭際立つ進行日本。韓国など4ヶ国、石炭火力利用廃止賛同。
- オフレット利用問題視、ゲリラさんが抗議デモ。
- (11/7)中口(EU)原発に高まる期待感。環境団体は反発。
- (11/7)中口(ブレ)タさん会議は失敗。CO<sub>2</sub>削減地デモ続く。
- (11/7)日経(木)林破壊防止、30年までにCO<sub>2</sub>30%超が目標、実現に壁。
- (11/7)日経(太)陽光の林地開発許可面積7割減。脱炭素と景観を板挟み。
- (11/8)中口(地)熱発電所数4倍に。
- (11/9)日経(CO<sub>2</sub>)日本の影薄く発信不足、台意も蚊帳の外。
- (11/9)日経(核)燃料サイクルを推進。教生田経産相、青森県知事と会話。
- (11/10)中口(東)電旧経営陣を不起訴。大阪地裁。

私が実質的に関与した初めての原発差し止め仮処分は、11月4日広島地裁で却下されました。全ての争点について四国電力と主張を闘わせた結果、四国電力は最期の方は反論できずに黙ってしまいました。(四国電力は負けを覚悟したはずです)。

そこで、私はよほど悪質な裁判官でない限り勝つだろうと思っていたのですが、残念ながらこのような結果となりました。

四国電力は「マグニチュード9の南海トラフ地震が伊方原発直下で起きたとしても伊方原発の敷地には181ガルしか到来しない」という非常識な地震動判定を行っていました。マグニチュード9の東北地方太平洋沖地震では震央(震源の真上の地表面または海面をいいます)から180キロメートル離れた福島第一原発の開放基盤表面(硬い岩盤)には181ガル(震度5弱相当)しか到来しないとしました。ちなみに、震度5弱とは、棚から物が落ちることがある、稀に窓ガラスが割れて落ちることがあるという程度の揺れです。

なお、181ガルに合理性がない場合には基準地震動(650ガル)の合理性が失われることについては四国電力も争っていませんでした。

広島地裁は、住民側の立証責任の軽減を図った伊方最高裁判決を適用せず、具体的危険性の立証責任は全て住民側にあるとしました。

南海トラフ地震181ガル問題についても、震源特性・伝播特性・増幅特性等に関する修正補正を加えた後でなければ、伊方原発の岩盤での181ガルと福島第一原発の岩盤での675ガルとを比較して一概に181ガルを不合理だとすることはできないとしました。

そして住民側がその補正をせずに181ガルと675ガルを比べているので具体的危険性の立証は不十分だとしたのです。

しかしこのようなことは四国電力さえも主張していなかったので実に奇妙な判断といえます。

住民側は「震源特性・伝播特性・増幅特性等は正確に見極めることはできないので、そもそも最大地震動(基準地震動)は予知予測できない」と主張していたのです。

そのような主張をしていた住民側に裁判所は無理難題を押し付けたのです。

更に、差し止めが認められるためには、住民側において、近々基準地震動650ガルを超える地震が発生することを立証しなければならないとしました。

およそ地震学者にもできない無理難題を住民側に課しました。

以上が今回の決定のあらましです。とても承服できる内容ではないので、広島高等裁判所に是正をもとめることにしました。

後輩が裁判官としての矜持も人間としての最低限の公平感も持ち合わせていないのを見るのはたいへんつらいのですが、三権の中で頼ることができるのは裁判所しかありません。

希望失わずに頑張っていきたいと思っております。引き続き見守ってくださいますようお願いいたします。

樋口英明

11月4日、広島地裁が伊方原発差し止め仮処分を却下した事について、樋口英明さんから、予知予測の不安な際、予知したメールです。拡散歓迎というところのこと。紹介する。お世話をされた。紹介する。お世話をされた。

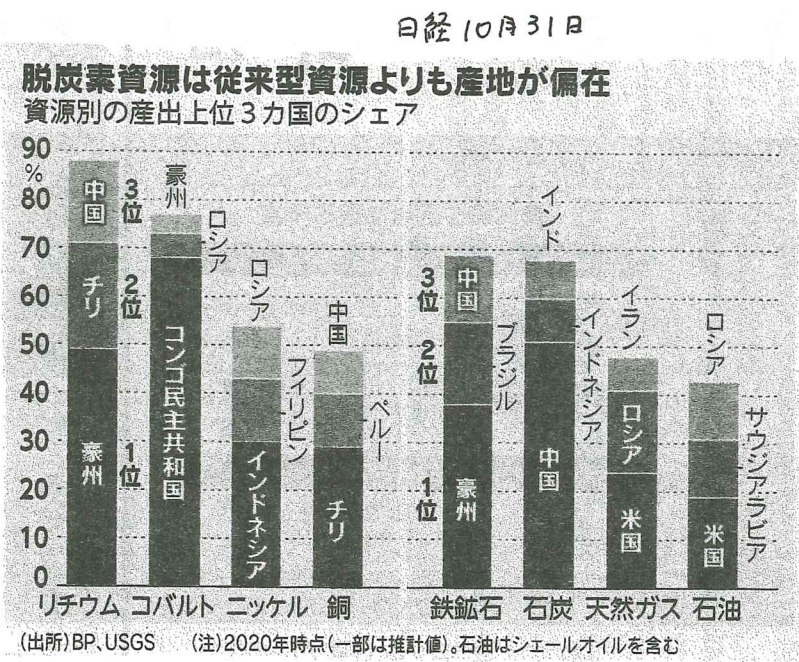
- (11/13中口)社説「(原発)旧経営陣不起訴についてこれぞ驚引き許されぬ。
- (11/11日経)気候変動「どう教えれば!」悩む教員、ハウ不足。
- (11/14中口)OP26肉厚、石炭火力削減の口息。
- (11/17日経)電気料金、来春も上昇へ。LNG高騰。
- (11/17日経)オバマの革命カーボンゼロ、若者20億人の奔流。2世代が迫る脱炭素。「我々は生きたい!」
- (11/18中口)海洋放出影響「極めて軽微」東電、処理水巡り評価。
- (11/19日経)「次世代型」地熱発電動く。
- (11/19中口)玄海原発の施設工事現場で火災。
- (11/19日経)森林破壊放置、EUが対抗策、ブラジルなど念頭、農産品輸入禁止も視野。
- (11/25中口)処理水風評対策、販促基金300億円、水産物対象に上制。
- (11/27日経)太陽光パネル急騰、3割高、中国で電力不足、工場稼働低下。
- (11/21中口)オロニオン・脱炭素社会日本の課題

↓P8

電気自動車も軽量化するにはアルミが必要。そのアルミを精製するには大量の電力が必要。ブラジルはアルミ鉱山は環境破壊だと、住民の反対運動がある。

私は、この裁判官から、原告の立場に対する敬意を感じたりが...。

6



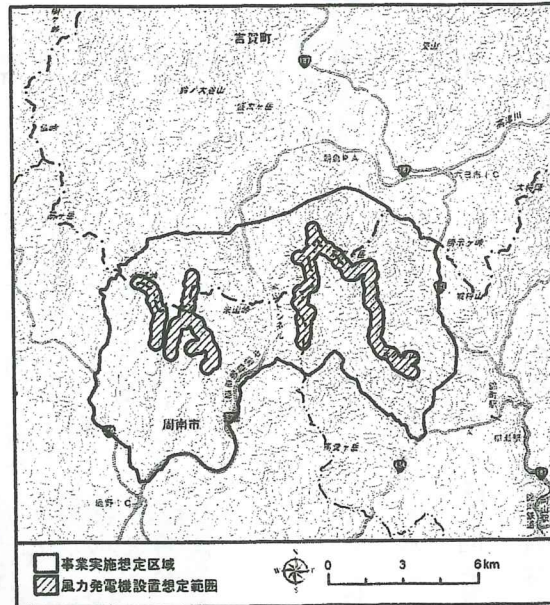
本の紹介  
「地国から消される街ー3.11後の「言」2は11けい真先」  
青木美希著・講談社現代新書 920円+税

# (仮称) 西中国ウインドファーム事業 計画段階環境配慮書のあらまし

## 事業の内容

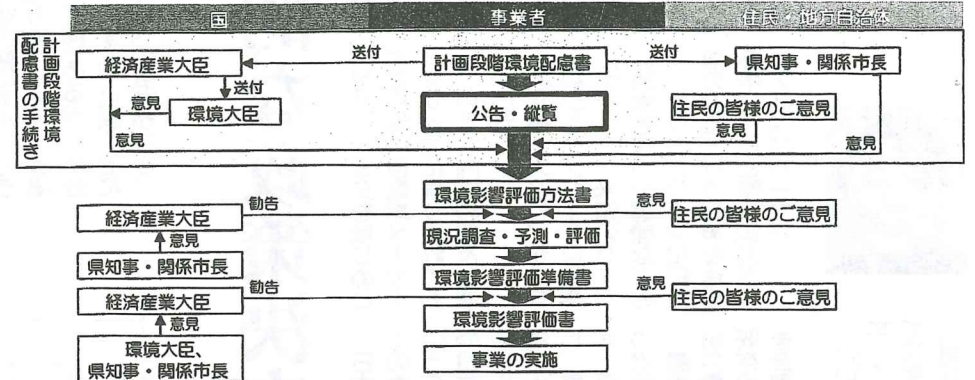
事業の名称	(仮称) 西中国ウインドファーム事業
事業実施想定区域の所在地	山口県周南市、岩国市、島根県吉賀町の行政境部 (下図参照)
原動機の種類	陸上風力 (風力発電機)
予定出力 (規模)	4,300kW 程度 (定格出力、予定) × 最大 33 基 合計: 最大 14 万 1,900kW

## 事業実施想定区域の位置及びその周囲の状況



## 環境影響評価の手続き (参考)

法令に基づく環境影響評価の手続きは次のとおりです。今回の「計画段階環境配慮書」の縦覧は本枠の段階のもので、  
今後、皆様のご意見をお聞きした上で、「計画段階環境配慮書」の内容を「環境影響評価方法書」以降の  
手続きに反映します。「環境影響評価方法書」において評価項目等の選定を行い、現況調査・予測及び評価  
した結果に基づき「環境影響評価準備書」を作成し、さらに「環境影響評価書」をとりまとめます。



## 計画段階環境配慮書の縦覧について

縦覧場所	縦覧期間	縦覧時間
周南市役所 環境政策課 周南市役所 鹿野総合支所 周南健康福祉センター	島根県庁 環境政策課 吉賀町役場 本庁 吉賀町役場 柿木庁舎	令和 3 年 11 月 9 日 (火) ~ 12 月 8 日 (水)
山口県 岩国市役所 本庁 2 階 市政情報コーナー 岩国市役所 錦総合支所 岩国健康福祉センター		開庁日の 午前 9 時から 午後 5 時まで

計画段階環境配慮書は、当社ホームページでもご覧いただけます。

(<https://www.ipower.co.jp/sustainability/environment/assessment/wind.html>)

環境保全の見地からご意見をお持ちの方は、令和 3 年 12 月 8 日 (水) までに意見書を公表場所に設置された意見書箱への投函、又は、下記のお問合せ先まで郵送 [当日消印有効] でお寄せください。

## 計画段階環境配慮書に関するお問い合わせ先

電源開発株式会社 風力事業部 陸上開発室  
〒104-8165 東京都中央区銀座六丁目 15 番 1 号  
TEL: 03-3546-9600 担当: 橋口、斎藤



# 土砂災害に心配の声も

## Jパワー、王子グリーンが周南地域で初事業

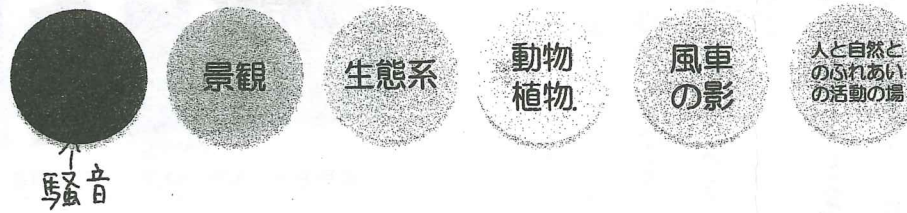
日刊周南

## 鹿野に風力発電所を計画

周南市鹿野岩国市会中尾勝賞会長 35 万キロワットを生み出す風がシベリアから八代を流れる声がある。方騒音や  
広瀬島根県吉賀町の人に参加して委員に、国内 6 番目の大きに渡るところの土砂災害景色の見え  
境界部に総出力が最大 計画を説明した。実現 さ。海外でも 64 万キロワットがわからないので  
14 万 1900 キロワット すれば両県で最大規模 活動している。同社が心配だと話し、橋口を  
の大規模な風力発電所の風力発電所になる。 周南地域で事業を展開 はんは渡り馬についても  
を建設する西中国ウ 同社(渡部肇史社 調査をする)を答えた。  
インドファーム事業(仮 長は北海道から沖繩 この日は同社風力事 同社は 5 月から同市

## 計画段階配慮事項の選定

環境影響評価法等の関係法令に基づき、計画段階配慮事項として、以下の項目を選定しました。



「さんか」周南市の環境審議会に出る。上記の資料をゲット。Jパワーが意見募集を止めているが12月8日まで。  
Jパワーのホームページを見ると資料の印刷、ダウンロードは不可。意見は資料公開場所のポストか郵送のみ、メール、FAXで受け付けず。  
(ホームページにはFAX番号なし) とて企業として適正、適切とは思えないとのこと。

# 上関原発

## 「二歩も進めるべきではない」

### 磯部氏が無所属で出馬へ

県議光補選

#### 藤井周南市長サイドの支援否定

来年2月6日投票の 水祐希氏(35)と島田 県政に届きたいと出馬の決意を述べた。記者との質疑で本紙記者は今回も昨年の市選と同様、周南市の市長選同様、周南市の無所属で出馬する(かもと)幸江、二十八(ちや)昭子両事務局の両方に「公費発行の周防コ次長顧問の加賀美彦元市議が同席した。磯部氏は「市民の皆さんに恩返し」の思いで出馬を決意した。私が「上関原発建設設計の講演を大きく報じたのか」と上関原発建設設計の考えはどうかと質問した。磯部氏は「藤井市長の考えを述べた」と付けた。



前列左から宮崎、磯部、山下、加賀美さん、後列左から荷本、二十八さん

原発推進では選挙に勝てないと判断させた光市民は、あはれ!

事務所は当面室積松原15-25の自宅(0833-78-0738)に置くが、近く国道188号沿いに事務所を構えるという。

# 脱炭素社会日本の課題

日本でも脱炭素社会に向大して再生可能エネルギーの取り組みが進んでいる。ギアの目標は36〜38%だ。一政策をはじめとする国内の現状は、その実現には遠い。

新たなエネルギー基本計画では、2030年度の原子力の発電比率は20〜22%とこれまでの目標が維持された。今後、東京電力の柏崎刈羽原発などの再稼働に期待が強いが、この目標の達成はほぼ不可能だ。発電コストが急速に低下し、多くの国で爆発的に拡大している。

## 科学的な政策決定へ変革を

飯田 哲也

環境エネルギー政策研究所長 21.11.21

脱炭素社会の実現から遠い。だが、トヨタをはじめとする日本の自動車メーカーはEV路線に乗り遅れておらず、日本国内での普及も進んでいる。EVの普及が拡大が欠かせないとして、各国で導入が進んでいる。米国のEV大手テスラは、脱炭素化の流れが追い風となって販売を伸ばし、この7〜9月



いいた・てつなり 59年周南市生まれ。京都大学卒。スウェーデン・ルンド大賞賞研究員などを経て00年に環境エネルギー政策研究所を設立、所長に就任。

日本に再生可能エネルギーの拡大を進めれば、生息地を配慮しつつ、地域住民の合意を得て再生可能エネルギーを大幅に拡大することは可能だ。だが、これは硬直的な現状の下では実現が難しい。政策決定手法を含め、経済産業省が主導するエネルギー政策の根本からの変革が求められる。

知の力、技術の力、議論の力を活用し、科学的な政策決定手法を確立する。この国の未来は暗い。



# 目からウロコの“戦争” 日本は絶対に戦争が出来ない国！

小倉志郎さんの意見

## 日本は戦争ができない国—— であるから「自衛隊も米軍も、 日本にはいらない！」のは自明

2021年10月20日

(初出：「ピースアゴラ」転載)

### お知らせ

今回は元原発技術者の小倉志郎さんの寄稿です。

小倉さんほど原発のほんとうの怖さを知ったうえで私たちに隠すことなく警告を発してくれる専門技術者は、日本に何人もいません。

国会の諮問委員会に参考人として出席し、議員の質問に事実をありのままに答弁された小倉さんならではの警告に耳を貸さずに、軍拡に走る自公政権はまさに亡国政権です。今月末の総選挙で政権交代を実現させないと子々孫々に禍根を残すこととなります。

—以下小倉さんの寄稿文—

非武装中立「美しい日本」を目指すピースアゴラ 花岡 蔚

今、日本は戦争ができない国になっている。その理由は実に単純だ。理由は2つで、一つは法律的な理由、もう一つは物理的な理由である。

### 1. 法律的な理由：

日本国憲法第9条に「国際紛争を解決する手段としてはこれ(戦争)を永久に放棄する」と明記してある。これはいわゆる「15年戦争(1931~1945)」の間に、日本が中国をはじめとするアジア諸国に対して行った侵略戦争に対する反省・謝罪、および、将来二度と戦争をしないという国際的な約束である。

「自衛のためなら」などという理由で戦争をすることはできない。先の戦争も「日本の自衛のため」という名目で行われたのだから。

### 2. 物理的な理由：

日本の海岸線には50基以上の原発が並んでいる。各原発には運転することによって核燃料ウランウムが分裂してできる高レベル放射性物質が大量に溜まっている。戦争になれば、相手国の社会活動を停止させるために発電所を攻撃するのは常識であり、しかも、原発の場合は発電が止まるばかりでなく、それまでに溜め込んだ高レベル放射性物質が環境に漏れ出す。放射能を含んだ大気の広がりに対して人々は緊急に逃げるしかない。逃げるしかないのは軍隊も同様である。どんな武器・兵器も放射能に対しては無力だ。

3・11フクシマ原発事故の際、世界最強の米国海軍の原子力空母ロナルド・レーガンですら逃げるしかなかった。さらに、人々が逃げる事ができた後、放射能で汚染した環境は数十年はおろか数千年もその汚染は消えず、元のきれいな環境に戻ることは永久にない。つまり、戦争になれば日本は広い国土を失うことを避けることはできない。

さらに、原発を武力攻撃から守る手段はない。なにしろ、原発はいたるところに弱点があり、それはほんの数人のゲリラが携帯できる小型の兵器で破壊することができるからである。

この詳しい解説は拙文「原発を並べて自衛戦争はできない」(ブログ「地球座」<<http://chikyuzo.net/archives/8887>>)に全文掲載)に具体的に記してあるので、ぜひ読んでいただきたい。

[注：アヒンサーでも受付けています]

日本は戦争ができない国であることがわかりさえすれば、「自衛隊も米軍も、日本にはいらない！」のは自明であろう。

2021年10月20日 どの党首も日本の安全保障に重大影響を持つ原発の危険にまったく触れないことに大きな疑義を持ちつつ

記 小倉志郎

小倉志郎さんの意見

## 「専守防衛の軍備ならOK」 にだまされるな！

2021年10月24日

(初出：「ピースアゴラ」転載)

### 「お知らせ」

全国7500以上あると言われる「9条の会」の会員はじめ、平和を求め護憲派を自認する人たちでさえほとんど全員がだまされている「専守防衛の軍備」とは？そして皆さんはだまされていませんか？

ピースアゴラ 花岡 蔚

—以下元原発技術者小倉志郎さんの投稿記事引用—

「外国から攻められた時の防衛のためだけの軍備だから、「軍備を持たない」と書いてある日本国憲法の下でも自衛隊があってもいいじゃないか」という意見を持つ「護憲派」あるいは「護憲的改憲派」と称する論客が結構いて、それを聞いて納得している国民も多い。

それでも、安倍政権が2014年7月1日に閣議決定し、2015年9月19日に国会で強行採決の末に成立したいわゆる「安保法制」にはさすがに国民の多くが「憲法違反」だと感じて、日本全国で25件もの「安保法制違憲訴訟」が起きている。

この「安保法制違憲訴訟」の結果が最終的にどうなるかはまだ不明であるが、仮に、この訴訟で原告側が勝ったとしても、自衛隊が海外でアメリカの軍隊と共同して軍事行動をすることが禁じられるのみで、相変わらず自衛隊という軍事組織はあり続ける。それで満足してよいのだろうか？ それで本当に憲法が守れたことになり、我々は安心できるのだろうか？

自衛隊の本業は、外国軍と戦い撃退することだ。即ち、武器・兵器を使って戦う組織である。「自衛」という形容詞がつこうと、本業は「戦争する」ことである。だから、日ごろから武器・兵器の使い方や組織的な戦い方について、机上の訓練や演習場での実働訓練を行なっている。若い自衛隊員は「自分が殺される前

に、相手を殺す」技術とともに、勇敢に戦う精神も鍛えられている。

海上、あるいは、空の上で仮想敵国の艦船や戦闘機と対峙した場合、どちらかの兵士や隊員がどう判断をし、どう行動するだろうか？

もし、相手から攻撃されたら、「反撃」をするだろう。相手側もそれに対して「反撃」すると戦闘開始である。もうそうになったら、海の上、空の上では、どちらが先に攻撃したかなどは誰にもわからなくなり、その戦闘が止まるか拡大して戦争になるかわからない。つまり、自衛隊があること自体が、戦争の着火源になる可能性を抱えることだ。

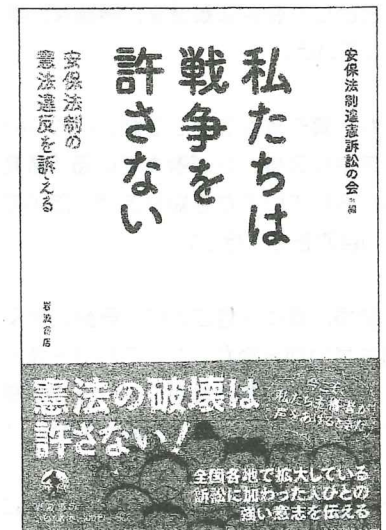
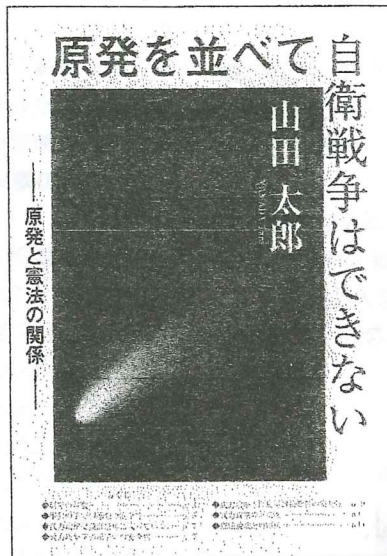
昔から言われているように、「攻撃は最大の防御なり」である。「自衛」と「攻撃」とは一枚のコインの裏表である。

やはり、戦争に絶対に巻き込まれないようにするためには、一枚のコインである自衛隊を軍事組織ではない、災害救助即応隊に編成替えするしかない。

自衛隊を保有するためのうたい文句、「専守防衛」などという言葉にだまされてはいけない。

2021年10月24日 総選挙を1週間後に控えて軍拡路線をひた走る自公維の候補者全員が落選することを願いつつ

記 小倉志郎



岩波書店 2017年発行  
(原告の一人として執筆)

小倉志郎さんの意見  
「権威者」の「国防論」こそ  
「亡国論」だ!

2021年10月28日  
(初出:「ピースアゴラ」)

お知らせ

ピースアゴラ呼びかけ人、小倉志郎さんの寄稿文です。小倉さんは東芝で現役時代、放射性物質で汚染した原子炉建屋内の点検を長く経験されました。原発技術者の中でも、設計段階から原発の現場を知っている技術者は小倉さんをおいて少ないでしょう。

ピースアゴラ 花岡 蔚

—以下小倉さんの寄稿文引用—

国会議員選挙が始まる頃は、著者に政治家の名を記した新刊本が並ぶ傾向がある。めったに本を買わない私も今回の衆議院選挙の始まる頃、散歩の途中、好奇心につられて横浜駅界隈で最大の書店を覗いてみた。

政治関係のコーナーに行ってみたら案の定、総選挙を前にして、名を売るだけが目的のような新刊本が並んでいた。

それと共に、政治の主要なテーマである「国を守るにはどうすれば良いか」ということについて、「国防」「安全保障」「地政学」「自衛隊」などの文字がタイトルに入った本が沢山並んでいた。それらの著者や対談者として著名な政治家、評論家、学者たちの名前が踊っていた。

もともと買う気はなかったが、これらの本の中で、日本のアキレス腱と私が考えている「原発」がどのように論じられているかを知りたかったので、片っ端から各本の目次を見て行った。

その結果、驚くべきことに、原発に言及している本が1冊も見つからなかった。これは一体どうしたことか? この書店の政治関係コーナーの状態に、「これは何かおかしい!」と感じざると得なかった。

もともと原発の設計条件に「武力攻撃に耐えねばならない」などという要求は入っていない。経済性を最優先にしている、武力攻撃に対しては弱点だらけなのが原発である。

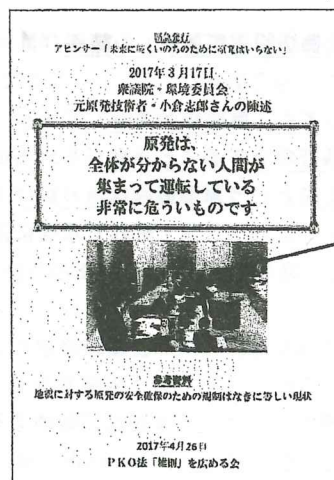
それなのに、なぜ「国防」に関する「権威者」たちは、そのことに言及しないのだろうか? 視野が広く、想像力豊かであろう「権威者」たちが知らないはずがない。言及しない理由を一応考えると、次のような項目が思い浮かぶ。

- 原発は武力攻撃に対して十分耐えられると考えている。(誤解、または、無知による)
- 原発は武力攻撃の目標にならないと考えている。(同上)
- 原発が武力攻撃に対して耐えられないことをわかっていて、これに言及することはタブーになっている。

それぞれの「権威者」がどれに当てはまるか、私にはわからない。しかし、いずれにしても、原発について言及しない「国防論」など非現実的なことは明らかだ。そんな「国防論」に基づいて日本の外交政策が進められて、自衛隊や米軍の軍事力が強力だからと武力衝突などを起こされたら、日本が亡びるのは確実だ。「権威者」の「国防論」を信じてはいけない。

最後に、読者の中で原発を論じている「国防論」の本を知っている方がいたら、ぜひコメント欄を利用して一報くださるようお願いしたい。

2021年10月28日 かねてからの疑問を皆さんの叡智で解き明かしたい  
小倉志郎 記



陳述する小倉志郎さん

2017年4月26日、衆議院環境委員会での小倉志郎さんの陳述記録「原発は、全体が分からない人間が集まって運転している非常に危ういものです」

小倉志郎さんの意見  
衆議院選挙が終わり、次の参議院選挙まで何をするか?

2021年11月3日  
(初出:「ピースアゴラ」)

お知らせ

本日は呼びかけ人、元東芝原発技術者小倉志郎さんの10回目の寄稿文をお読みください。

私たちの選挙運動を釣りに例えるのはいささか不穏当かもしれませんが、黙っていても野党に投票する野党支持魚しか泳いでいない釣り堀(集会)で釣り(選挙運動)をして、いくら釣れた釣れたと喜んで自然の大海、大河、湖で泳いでいる野党支持魚の4倍以上の与党支持魚、無党派魚は釣れません。

—以下、小倉志郎さんの寄稿文の引用です—  
ピースアゴラ 花岡 蔚

数々の悪事を働いていたことが明らかな自民党の議席が、単独で過半数を確保したこと。さらには公明、維新などを加えると「改憲派」の議席が3分の2を超えたこと。

このような選挙結果について、既に様々な感想や批評が世間に飛び交っている。その立場や信条によって、悲観的な人、楽観的な人、中間的な人と様々だ。

投票率は約55%。約45%の投票しなかった有権者の事情や考え方は不明だ。



ハンドマイクを手に一人デモの小倉志郎さん

はっきりしたことは、今後も自民・公明連立政権が続き、アベ・スガ政権時代の政策が続くことである。憲法改悪へ向かう圧力や自衛隊の戦力増強など日本が戦争に巻き込まれる可能性はどんどん高まるだろう。

この政治の流れが続くなら、いずれ日本は戦争に巻き込まれ、その中で原発を攻撃されて、国土は放射能汚染によって、安心して子どもを産み育てることができなくなる。そうならないように、私たち一人ひとりができることをやるしかない。

さて、来年の夏には参議院選挙がある。それまでに数か月しかない。戦争を絶対にしない日本をつくることを目指す私たちは、どうすれば良いか? できることは一つではない。各人ができることをすればよい。一人ひとり違っていても、目標さえ一致していればよい。

私はこれから参議院選挙まで毎日「一人デモ」をする。「一人デモ」には沢山のメリットがある。いつでも、どこでも、自分の都合だけでできることだ。さらに、デモの最中、自分の周囲はほとんど見知らぬ人ばかりで、しかもそのほとんどが同意ではないだろう。それは、参加者のほとんどが同志である大集会デモよりも、宣伝の効果が大いという点だ。

今回の衆議院選挙の直前に文京区本郷三丁目の交差点で正午から1時間デモを行った時は、横断歩道の信号が青から赤に変わるまでが40秒、その間に渡ってくる人びとは20人以上であった。おおざっぱに計算すれば1時間に1800人がデモの前を通ったことになる。プラカードを使い、楽器を演奏し、マイクでトークをしたので多くの人がプラカードに目を向けてくれた。

この場所ではピースアゴラの仲間と一緒に2~4人の場合があったが、自宅の最寄りの横浜駅前では一人で行っている。

もし、同志1000人で大集会を行う代わりに、1000人が、日本の各地で別々に「一人デモ」を行ったら、1時間で180万人の同志でない人々にアピールすることができることになる。皆さんにも「一人デモ」をお薦めする。

2021年11月3日 総選挙の結果を受けたくて決意を込めて75年目の平和憲法公布記念日に

記 小倉志郎

2021年11月4日作成 アヒンサー  
(目からウロコ FC2 アヒンサー)

\*アヒンサーとはサンスクリット語で、「殺されたくない、殺したくない」という意味です。